

# 2024年7月期 本決算説明会

**サムコ株式会社**

証券コード: 6387 東証プライム

2024年9月12日(木)

# 24/7月期の実績

( 2023.8.1 ~ 2024.7.31 )

# 24/7月期 業績ハイライト

過去最高	過去最高	過去最高	過去最高
売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
82.0億円	20.1億円	20.8億円	14.7億円

- 増収・増益（3期連続）
- 売上高は3期連続で過去最高を更新！
- 営業利益は4期連続で過去最高を更新！
- 経常利益、当期純利益は5期連続で過去最高を更新！
- 受注高は81.4億円と2023年7月期を若干下回る結果であるが、第4四半期単体では24.8億円と回復傾向。

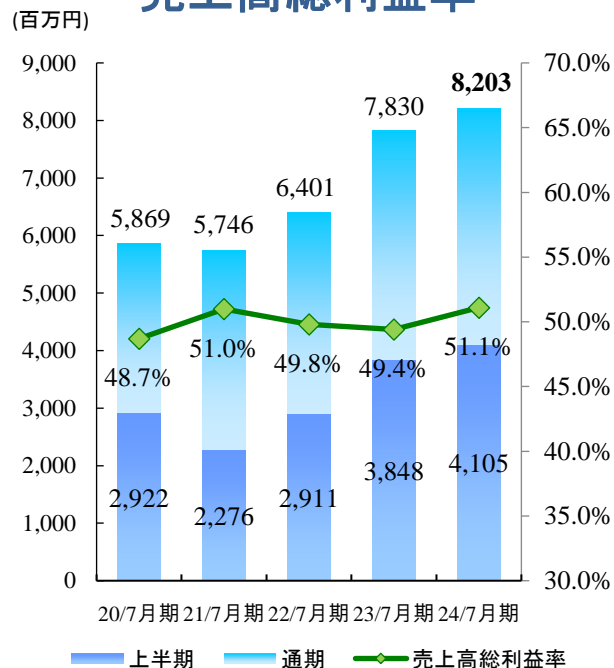
# 24/7月期 実績報告

(単位:百万円)

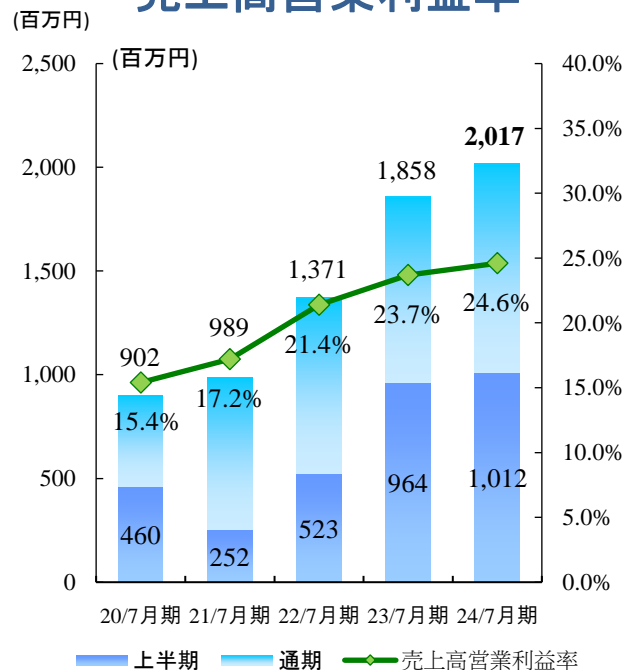
	23/7月期 実績	24/7月期			
		実績	前期比	当初計画	計画比
売上高	7,830	8,203	4.8 %	8,500	△ 3.5 %
売上総利益	3,869	4,193	8.4 %	4,125	1.7 %
売上高総利益率	49.4 %	51.1 %	—	48.5 %	—
営業利益	1,858	2,017	8.5 %	1,990	1.4 %
営業利益率	23.7 %	24.6 %	—	23.4 %	—
経常利益	1,927	2,088	8.4 %	2,010	3.9 %
当期純利益	1,366	1,471	7.7 %	1,370	7.4 %

# 業績ハイライト

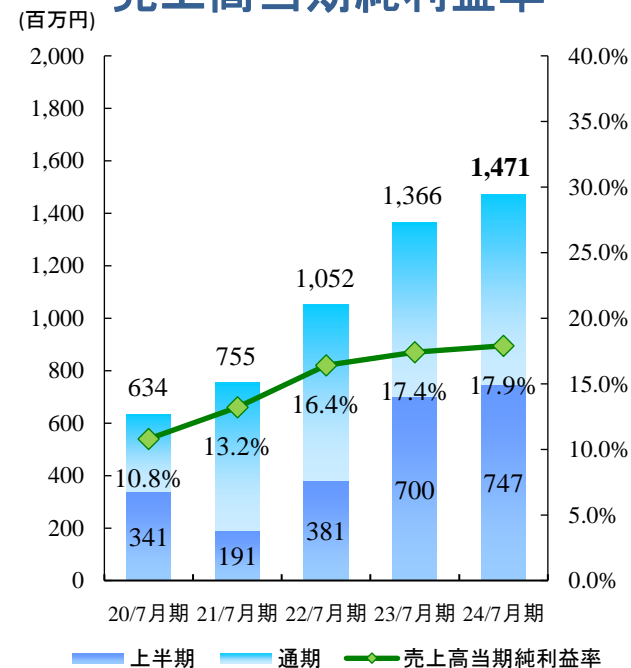
## 売上高 / 売上高総利益率



## 営業利益 / 売上高営業利益率



## 当期純利益 / 売上高当期純利益率



# 24/7月期 装置別売上高

(単位:百万円)

	23/7月期		24/7月期		
	売上高	構成比	売上高	前期比	構成比
CVD装置	1,299	16.6 %	1,632	25.7 %	19.9 %
エッチング装置	3,957	50.5 %	4,671	18.0 %	56.9 %
洗浄装置	833	10.7 %	605	△ 27.3 %	7.4 %
部品・メンテナンス	1,740	22.2 %	1,293	△ 25.7 %	15.8 %
合計	7,830	100.0 %	8,203	4.8 %	100.0 %

【CVD装置】 「化合物半導体分野」の半導体レーザーや高周波デバイスの加工用途での販売。

【エッチング装置】 「化合物半導体分野」の半導体レーザーや高周波デバイス、パワーデバイス、LEDの加工用途、「シリコン半導体分野」の欠陥解析用途などでの販売。

【洗浄装置】 「化合物半導体分野」の半導体レーザーや高周波デバイスの加工用途での販売。

# 24/7月期 用途別売上高

(単位:百万円)

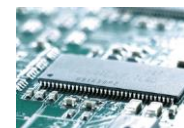
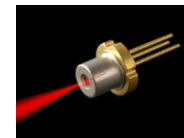
	23/7月期		24/7月期		
	売上高	構成比	売上高	前年比	構成比
化合物半導体分野	2,202	28.1 %	3,436	56.0 %	41.9 %
シリコン半導体分野	1,388	17.8 %	1,189	△ 14.3 %	14.5 %
電子部品分野	1,087	13.9 %	640	△ 41.1 %	7.8 %
ヘルスケア関連分野	140	1.8 %	64	△ 54.4 %	0.8 %
その他	1,270	16.2 %	1,579	24.3 %	19.2 %
部品・メンテナンス	1,740	22.2 %	1,293	△ 25.7 %	15.8 %
合計	7,830	100.0 %	8,203	4.8 %	100.0 %

【化合物半導体分野】 通信用の半導体レーザー、高周波デバイス、LED向け等が売上を牽引。

【シリコン半導体分野】 欠陥解析(FA:Failure Analysis)、シリコンフォトニクス向けが堅調。

# 用途別売上高区分

用途	概要
化合物半導体分野	GaN(窒化ガリウム)、GaAs(ガリウムヒ素)、InP(インジウムリン)、SiC(炭化シリコン)などの化合物を材料に用いた半導体デバイスの加工用途です。化合物半導体はLEDや半導体レーザーといった光デバイス、電力の制御や増幅に使われるパワーデバイスや高速通信を実現するHEMT(High Electron Mobility Transistor)などの高周波デバイスに用いられます。
シリコン半導体分野	シリコンウェハの欠陥解析及びシリコン半導体に関する加工用途です。
電子部品分野	半導体を除く電子部品の加工用途です。主にMEMS(Micro Electro Mechanical Systems 微小電気機械システム)、コンデンサ、インダクタ、各種センサー、高周波フィルターが含まれます。
ヘルスケア関連分野	マイクロ流体デバイスなどヘルスケアに関する加工用途などです。
その他	大学等の共用設備向けの装置など上記以外の加工用途です。
部品・メンテナンス	部品・メンテナンスに関する売上です。



第45期第2四半期 決算短信(2024.3.13提出)より



# 24/7月期 目的別売上高

(単位:百万円)

	23/7月期		24/7月期		
	売上高	構成比	売上高	前期比	構成比
生産用	3,216	41.1 %	2,821	△ 12.3 %	34.4 %
研究開発用	2,873	36.7 %	4,088	42.3 %	49.8 %
部品・メンテナンス	1,740	22.2 %	1,293	△ 25.7 %	15.8 %
合計	7,830	100.0 %	8,203	4.8 %	100.0 %

【生産用】 通信用の半導体レーザー、各種センサ向けの生産機の販売。

【研究開発用】 大学・研究機関への共用設備(オープンラボ)や、半導体レーザー、光センサ、量子デバイス、パワーデバイス、バイオセンサ向けなどの幅広い投資需要が継続。

# 24/7月期 地域別売上高

(単位:百万円)

	23/7月期		24/7月期		
	売上高	構成比	売上高	前期比	構成比
(国内)	5,145	65.7 %	4,408	△ 14.3 %	53.7 %
(海外合計)	2,685	34.3 %	3,794	41.3 %	46.3 %
アジア	2,103	26.9 %	2,907	38.2 %	35.4 %
北米	445	5.7 %	824	84.8 %	10.1 %
欧州	64	0.8 %	51	△ 20.7 %	0.6 %
その他	71	0.9 %	12	△ 82.5 %	0.2 %
合計	7,830	100.0 %	8,203	4.8 %	100.0 %

- 海外売上高比率 46.3% (期初計画43.4%)。
- アジア市場は、中国が売上を牽引した。韓国、台湾、インド、シンガポール、フィリピンなどへの販売あり。
- 北米は前期比で大きく伸長。

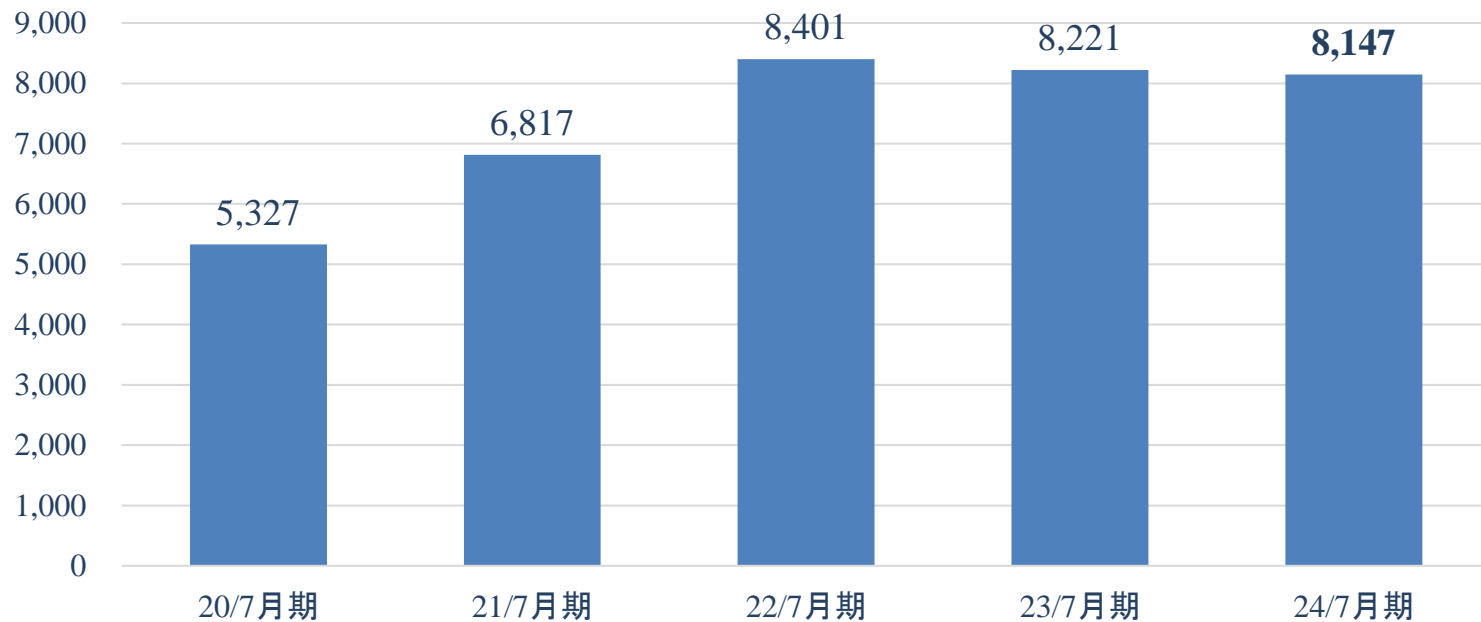
# 地域別海外売上高

(単位:百万円)

	20/7月期	21/7月期	22/7月期	23/7月期	24/7月期
<b>アジア</b>	1,595	1,857	1,763	2,103	<b>2,907</b>
<i>中国</i>	1,209	906	1,053	1,269	<b>1,936</b>
<i>台湾</i>	56	350	171	248	<b>350</b>
<i>韓国</i>	205	199	322	475	<b>506</b>
<i>その他</i>	124	400	214	109	<b>113</b>
<b>北米</b>	714	343	391	445	<b>824</b>
<b>欧州</b>	159	244	75	64	<b>51</b>
<b>その他</b>	114	—	33	71	<b>12</b>
<b>海外売上高合計</b>	2,584	2,445	2,263	2,685	<b>3,794</b>

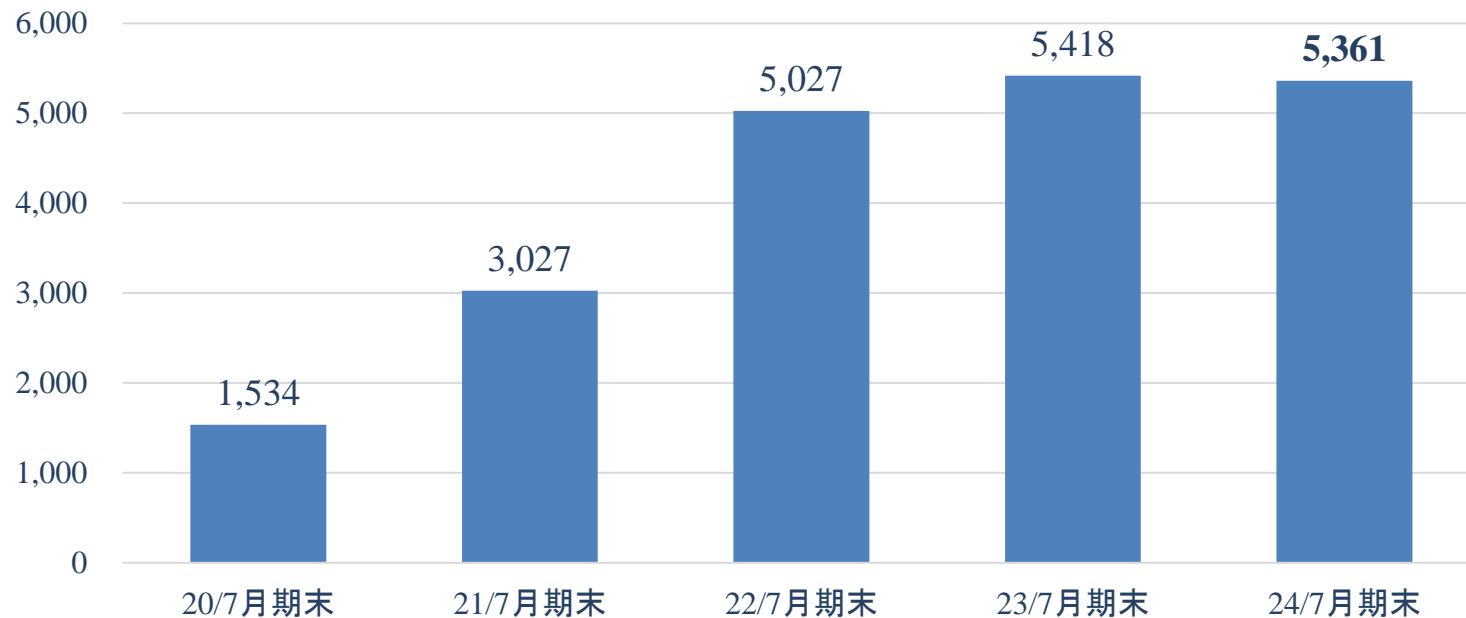
# 受注環境(受注高)の変化

(単位:百万円)



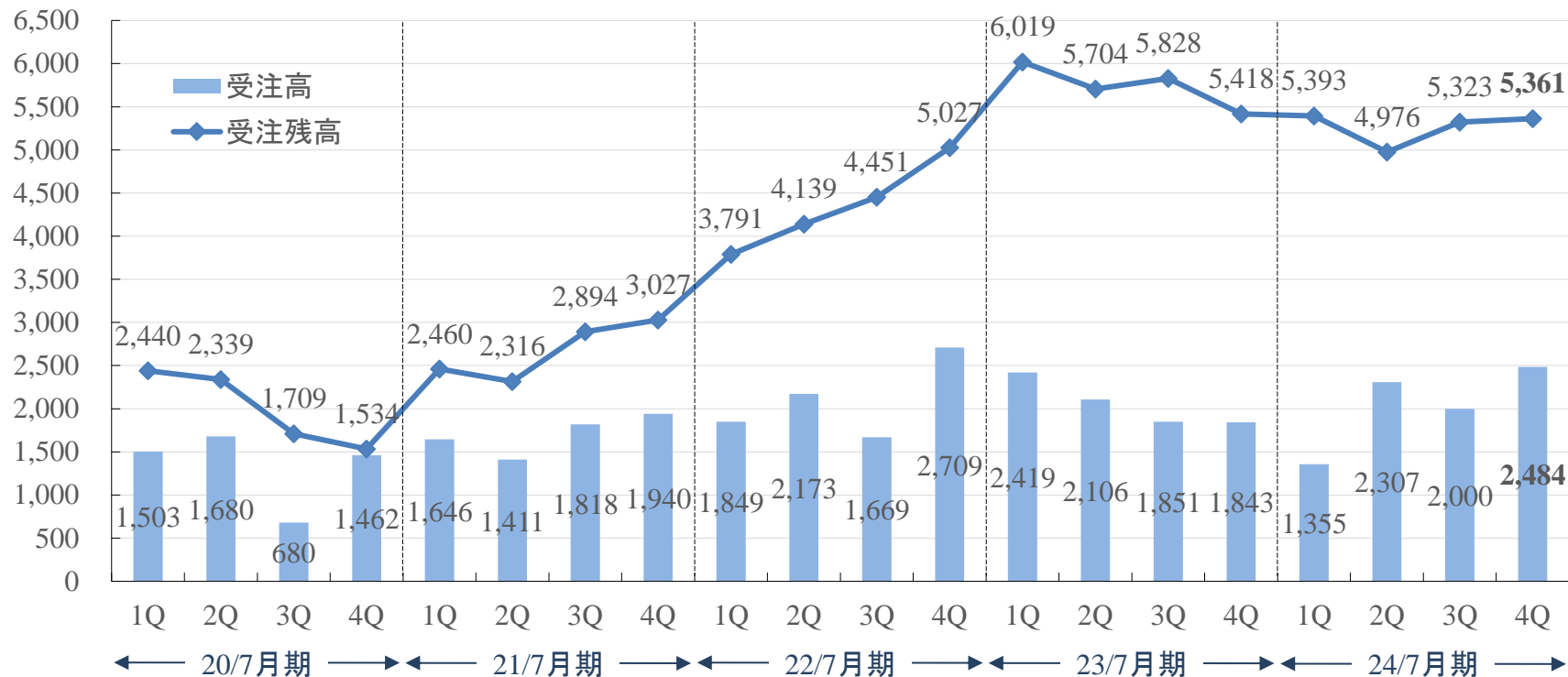
# 受注環境(期末受注残高)の変化

(単位:百万円)

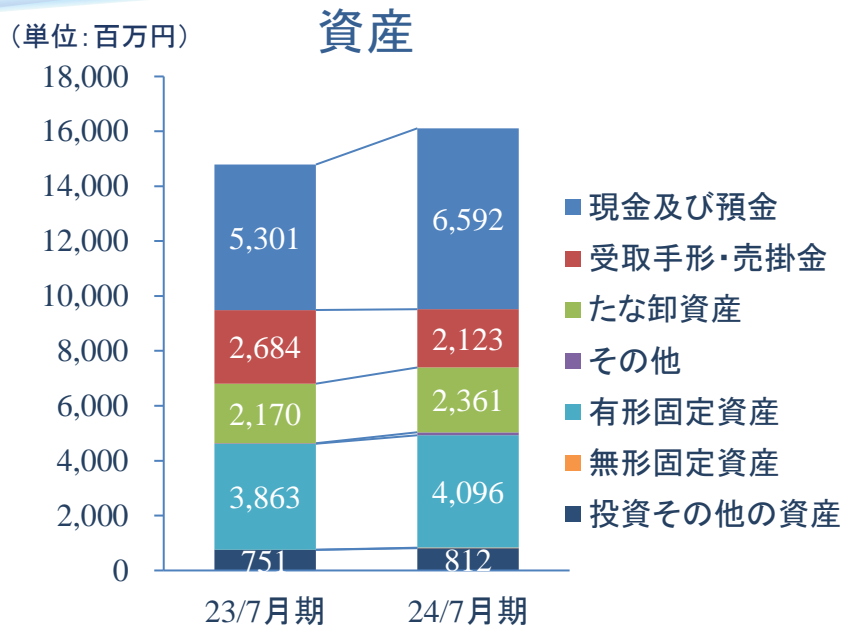


# 受注環境(受注高、受注残高)の変化

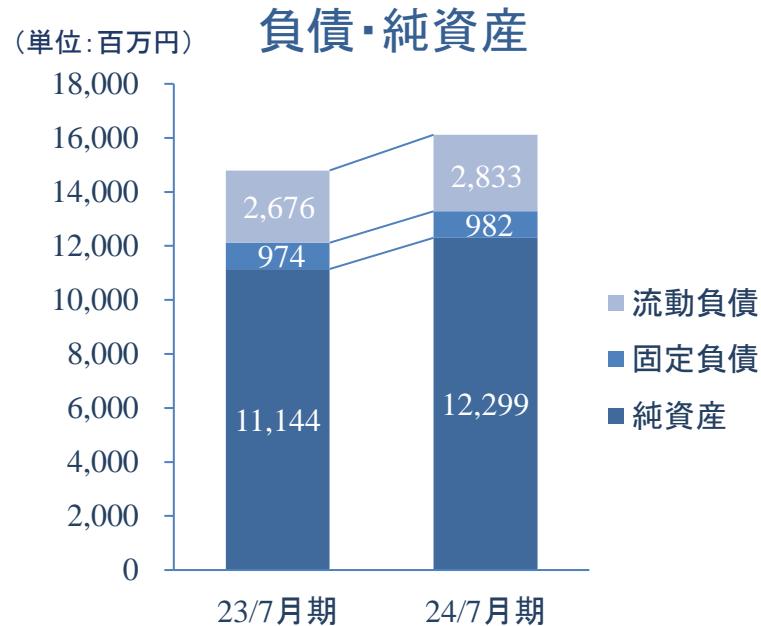
(単位:百万円)



# 貸借対照表(前事業年度末比)



- ・ 現金及び預金 1,290百万円増
- ・ 受取手形・売掛金 561百万円減
- ・ たな卸資産 191百万円増
- ・ 建設仮勘定 181百万円増



- ・ 買掛金 146百万円減
- ・ 短期借入金 300百万円増
- ・ 繰越利益剰余金 1,110百万円増

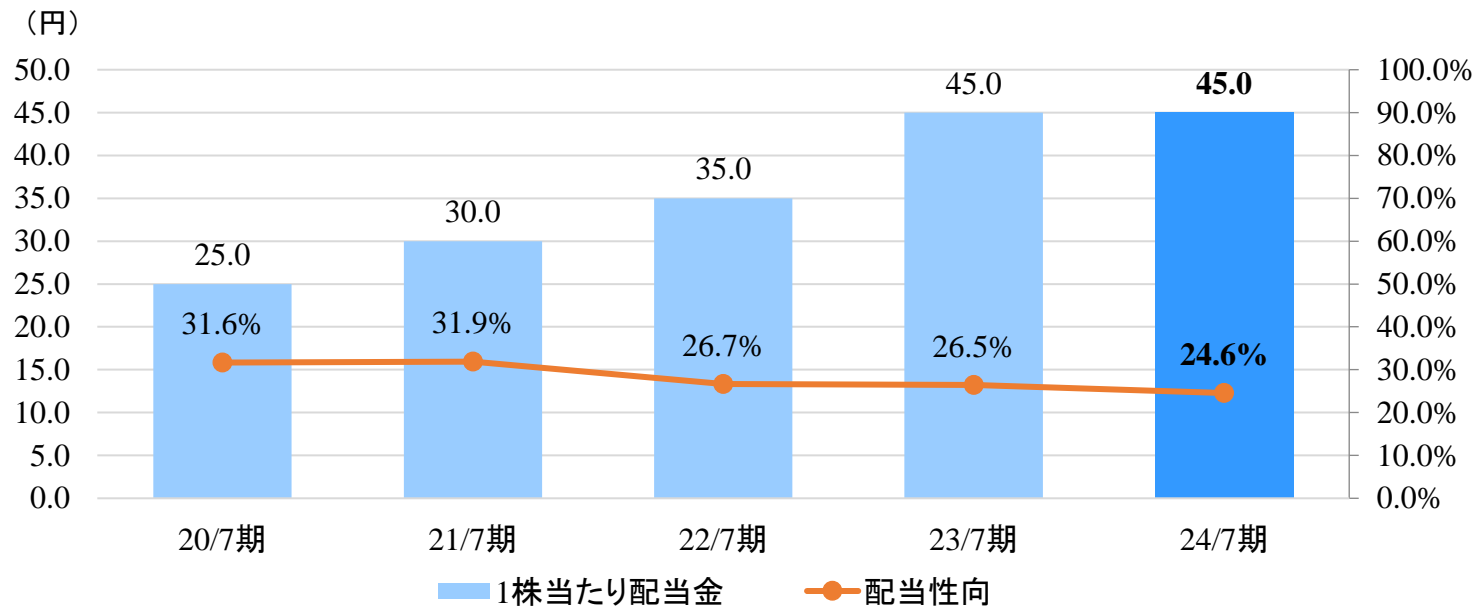
# キャッシュフロー計算書(前期比)

(単位:百万円)

	23/7月期	24/7月期	前期比	24/7月期の主な内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	△189	1,642	1,831	税引前純利益 +2,088、売上債権・契約資産 +561 法人税等の支払額 △666
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 75	△ 292	△ 216	有形固定資産の取得 △255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 325	△ 103	221	短期借入金を増額 +300 配当金の支払 △361
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	16	△ 28	—
現金及び現金同等物の増減額	△ 545	1,263	1,808	—
現金及び現金同等物の期首残高	3,919	3,374	△ 545	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,374	4,637	1,263	—



# 1株当たり配当金、配当性向 推移



経営体質の強化と研究開発のための設備投資等のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続する基本方針のもと、余剰資金については業績連動的な配当の考え方を合わせて取り入れております。

# 24/7月期 トピックス

( 2023.8.1 ~ 2024.7.31 )

## 第三研究開発棟の地鎮祭を執り行いました



地鎮の儀(左)と、集合写真(上)  
(2024.4.25 第三研究開発棟の建設予定地にて)

- 4月、自社施設敷地に建設を計画している**第三研究開発棟の地鎮祭**を執り行いました。
- 伏見区の城南宮を斎主に、当社取締役、執行役員、技術開発部員、施工業者、メディア関係者が参列。土地の神様に工事の開始を奉告する「地鎮の儀」では、土地の神様を鎮め工事の安全と事業の繁栄を祈願し、ご参列の皆様とともに建屋工事の安全、そして将来の成功を祈願いたしました。
- **12月中旬に完成予定。**

詳しい情報は[こちら](#)

# 建設中の第三研究開発棟の様子



2024.9.10時点の様子

▶ 第三研究開発棟の建築工事は予定通りに進めております。



完成イメージ

## 東スイス応用科学大学との連携を開始、欧州市場の開拓を強化



- 海外販売の拡大のため、東スイス応用科学大学 (Ost Schweizer Fachhochschule: OST) との連携を開始し、欧州市場の開拓を強化。
- 当社はCCP型RIE装置「RIE-10NR」と卓上型UVオゾンクリーナー「UV-2」をOSTのマイクロテクノロジー・フォトニクス研究所 (Institute for Microtechnology and Photonics: IMP) に設置し、オープンラボとして欧州中の大学や企業の研究者にご利用いただけます。
- 今回のOSTとの連携をきっかけに、欧州で当社およびsamco-ucp社の装置の販売を強化してまいります。

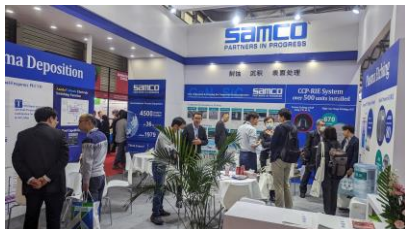
左: OST IMPクリーンルームの責任者 Dr. Marco Cucinelli  
右: samco-ucp社 新CEO Vinzenz Gangl

[詳しい情報はこちら](#)

## SEMICON China 2024出展

- 2024年3月20日～22日、中国 上海にて開催。
- 出展社数は1,100社と世界最大級を誇り、来場者数は約14万人を超える。

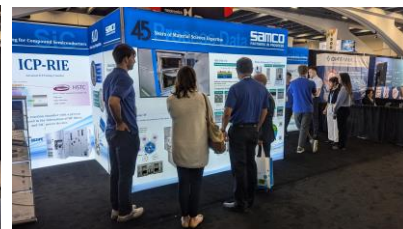
**SEMICON<sup>®</sup>**  
**CHINA**



## SEMICON West 2024出展

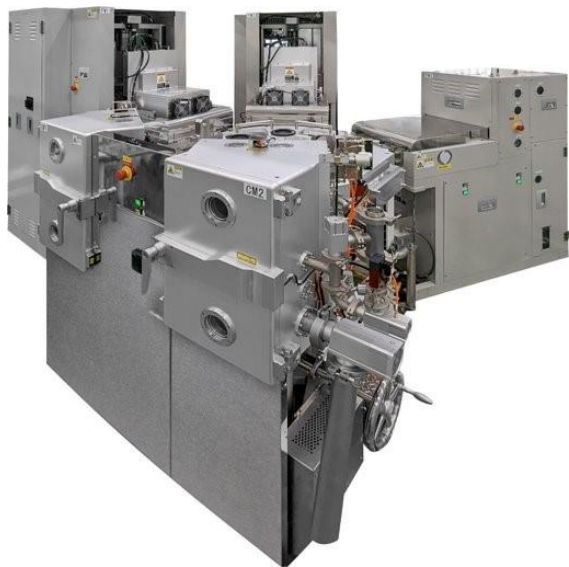
- 2024年7月9日～11日、米国 サンフランシスコにて開催。
- 北米企業を中心に約645社が出展。(うち日系企業は約40社)

**SEMICON<sup>®</sup>**  
**WEST**



展示会出展予定の情報は[こちら](#)

## クラスターツールシステムの2号機を受注



➤ 電子デバイス製造のエッチング工程向けの本格量産装置「クラスターH™」の2号機を、研究開発機関から受注。

### 【装置の特長】

- ・ 生産用途に特化したマルチチャンバー装置
- ・ 顧客工場のホストコンピュータと接続可能なソフトウェア搭載
- ・ 化合物半導体を中心とする非シリコン分野の材料加工技術の粋を結集。

クラスターH™のTechnical-Report [SamcoNow116\\_TechnicalReport.pdf](#)

[SamcoNow124\\_TechnicalReport.pdf](#)

## 米国ジェームズ・マディソン大学の学生らに会社見学会を実施

- ▶ 米国バージニア州のジェームズ・マディソン大学で経営学修士(MBA)取得を目指す学生ら約40名が来社。
- ▶ 当社の歴史や事業内容を紹介する講演会と工場見学を実施。
- ▶ 今後も国内外を問わずに外部との交流、情報交換の機会を積極的に増やしていく計画。



講演会後の様子  
(2024.3.14 弊社生産技術研究棟にて)



## 欧州 III-V Lab社からICPエッチング装置を受注

- フランスに拠点を置く産業研究所III-V Lab社へICPエッチング装置「RIE-400iP」2台を販売。
- 同社は、III-V族半導体を用いたフォトニクス・マイクロエレクトロニクスの産業研究所。
- インジウムリン(InP)、窒化ガリウム(GaN)、ガリウム砒素(GaAs)、ガリウムアンチモン(GaSb)などの化合物半導体材料の研究用。



[Samco Announces Sale of Advanced Etching Systems to III-V Lab in Europe](#) | [News](#) | [Samco Inc.](#)



## 米国ビジネス誌「FORTUNE」に当社記事が掲載

- 米国のビジネス誌「FORTUNE」に当社の会社紹介と、会長 辻へのインタビュー記事が掲載。
- 以下、辻のインタビュー記事(抜粋)
  - ・私たちは、日本、そしてグローバルな舞台で利益を高めたい。
  - ・京都の歴史に誇りを持っており、今でも日本の技術の中心地である。
  - ・この度の新しい研究開発拠点は、ライフサイエンスとエネルギー分野における半導体と関連技術の研究拠点としたい。



FORTUNE Magazine: Kyoto's Semiconductor Success | News | Samco Inc.

## 府、中小の半導体参入促進



### 産官学連携 製造・素材 集積図る

【京都市】京都市産業振興局は、出陣した山崎下関知事らが中心となり、府内各地の中小企業を支援する。京都市産業振興局は、出陣した山崎下関知事らが中心となり、府内各地の中小企業を支援する。京都市産業振興局は、出陣した山崎下関知事らが中心となり、府内各地の中小企業を支援する。

## 京都の半導体産業振興フォーラム

京都半導体産業振興フォーラム  
半導体産業の展望と京都の可能性

基調講演 **松波 弘之** 京都大学名誉教授  
パネラー サムコ(株)、(株)SCREEN HD 他(調整中)  
モデレータ 西本 清一 (公財)京都高度技術研究所 理事長

日時 2024.3.13 水 15:00-17:00  
会場 京都市サーチパーク4号館 バスホール  
主催 京都府、京都産業21



パネルディスカッションの様子  
(2024.3.13 京都市サーチパークにて)

➤ 京都府および(公財)京都産業21主催の京都半導体産業振興フォーラムにて、「半導体産業の展望と京都の可能性」と題したパネルディスカッションに代表取締役会長の辻が登壇。

京都半導体産業振興フォーラム:半導体産業の展望と京都の可能性  
主催：京都府、公益財団法人京都産業21  
<https://www.ki21.jp/informations/kyotosemiconforum/>

# 24/7月期 トピックス

8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



## 東高瀬川ビジネスコミュニティ

### 東高瀬川ビジネスコミュニティ キックオフ・シンポジウム

～京都から挑むグローバルビジネスの展望～

1 民間産業サービス「Midgar」によるイメージスケッチ  
©2023 crosshairlab

定員100名  
参加費無料

2024  
3.18 (月)  
15:00～17:00  
(14:30～受付開始)

会場：京都市成長産業創造センター  
(ACT京都) 2階共有会議室

【主催】東高瀬川ビジネスコミュニティ（代表：サムコ株式会社 代表取締役会長 辻野）

### プログラム

15:00 ①開会挨拶  
平尾 一之 氏 京都市成長産業創造センターセンター長 / 京大名誉教授

15:10 ②「東高瀬川ビジネスパーク構想」とビジネスコミュニティの紹介  
辻野 氏 サムコ株式会社 代表取締役会長

15:20 ③記念講演「京都から挑むグローバルビジネスの展望」

辻野 氏 サムコ株式会社 代表取締役会長

京都府出身。立命館大学理工学部卒業。分析機器メーカー入社。米国NASA Ames 研究所研究開発部長を経て1997年京都市コンピュータシステム高度化（現サムコム）設立。2018年に代表取締役会長に就任。専門のプラズマ材料化技術以外にイベントや精神や国際的な人材育成等で活躍中。



15:50 ④パネルディスカッション「らんくなん道都の可能性と東高瀬川BIPの展望」  
※出席は不要です。参加は自由です。

平尾 一之 氏 (モデレーター)

京都市成長産業創造センターセンター長 / 京大名誉教授

大東市出身。京都大学工学部材料工学科博士課程修了。米国ボストン、京大勤務。同教授を経て、独立。匿名教授。日本セラミックス協会会長・中国鋼材工業委員会日本代表を兼ねる。2012年東郷賞受賞者。2024年日本セラミックス協会会長就任。



生田 泰宏 氏

生田産業工業株式会社 代表取締役

京都府出身。大学卒業。米国留学。株式会社勤務を経て、1989年生田産業工業に入社。1999年より社長職。現在はグローバルビジネスの推進、関西を中心とする事業を展開。現在、日本・中国・トルコのグループ会社を擁む8社の代表を務める。



竹田 正俊 氏

株式会社クリスエフェクト 代表取締役

京都府出身。立命館大学卒業。米国留学。2000年ロシアエフェクト。韓国サムエーション中心職をキルムの開発、販売を手掛ける。2013年第5回ものづくり日本大賞特別賞受賞。クラウドデザイン賞受賞。2020年京都府知事賞受賞者。

白濁 正 氏

京都大学 研究フェロー

京都府生まれ。京都大学法学卒業。大東市立大学大学院国際経営学研究所。1978年京都府庁入庁。2011年度産協副会長。2014年度産協会長。2016年度産協次長就任。現職。都市国際化推進委員。

17:00 ⑤交流会 ※別途参加費3,000円（懇親会別）※懇親会は京都府市長成長産業創造センター（ACT京都）1階イベントルームにて開催

#### お申込みはこちら

下記URLもしくは、二次コードから  
お申込みください。  
<https://forms.gle/kyakkyFpIdetm0q6>  
※申込み締切：3/13(水) 17:00まで

#### 会場アクセス

会場地図が設定されていますが、  
最寄り駅は、追加が必要です。  
場合によっては、最寄り駅でない  
可能性があるので、予めご留意  
ください。

【お問い合わせ先】東高瀬川ビジネスコミュニティ事務局  
〒600-0006 京都市東山区南禅寺町1丁目1番1号（住吉ビル1階）  
TEL 075-221-5112 mail: takn-hknjarpark.co.jp

2024年(令和6年)3月19日 火曜日

### 産官学構想団体 始動シンポ

## 東高瀬川地域を ビジネス拠点に

京都市成長産業創造センター

京都市成長産業創造センター  
（京都市伏見区・市長成長産業創造センター）

伏見 機運醸成へ連携・誘致図る

【イベント概要】  
産官学連携による東高瀬川地域をビジネス拠点にするためのシンポジウムを開催します。会場は京都市成長産業創造センター2階共有会議室です。市産協、市産協連合会、市産協連合会各団体、産官学連携推進委員会の各団体が参加し、京都市成長産業創造センターの今後の展開や、東高瀬川地域をビジネス拠点にするための連携のあり方について、中長期的な展望と、具体的な取り組みについて、産官学連携の推進を図ります。

【講演者】  
平尾 一之 氏 京都市成長産業創造センターセンター長 / 京大名誉教授  
辻野 氏 サムコ株式会社 代表取締役会長  
生田 泰宏 氏 生田産業工業株式会社 代表取締役  
竹田 正俊 氏 株式会社クリスエフェクト 代表取締役  
白濁 正 氏 京都大学 研究フェロー

【お問い合わせ先】  
〒600-0006 京都市東山区南禅寺町1丁目1番1号（住吉ビル1階）  
TEL 075-221-5112 mail: takn-hknjarpark.co.jp

東高瀬川ビジネスコミュニティキックオフ・シンポジウム  
～京都から挑むグローバルビジネスの展望～  
主催：東高瀬川ビジネスコミュニティ

<https://www.arpak.co.jp/event/item6451.html>

Page 28

本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ株式会社に属しております。複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

**samco**  
PARTNERS IN PROGRESS

# 社会貢献 ①



## ウクライナ人道危機救援金への寄付

- 毎期の利益の一部を日本赤十字社などの各種団体に寄付する活動を継続中。
- 今期も、日本赤十字社が募集する「ウクライナ人道危機救援金」へ、1,000万円を寄付。
- 今後も継続的に利益の一部を寄付し、日本赤十字社の活動に協力してまいります。ウクライナの紛争が早期に解決され、地域の平和が回復することを心から願っております。



日本赤十字社様へ寄付  
(2024.7.30 弊社本社にて)

日本赤十字社様のHPにも掲載されました ⇒ [こちら](#)より御覧ください

# 社会貢献 ②



## サムコ科学技術振興財団による活動

- 薄膜、表面、界面に関する研究分野の若手研究者を助成。
- 財源はサムコ株式会社の株式であり、その配当金が活動資金の原資。
- 2024年9月20日、第8回 研究助成金贈呈式を開催予定。
- 記念講演の講師には、「鉄系高温超電導物質の発見」、「IGZO(イグゾー)半導体の創製」などの研究成果を挙げられた東京工業大学 元素戦略MDX研究センター 特命教授、栄誉教授で、物質・材料研究機構の特別フェローである細野秀雄様をお招きする。






第7回 研究助成金贈呈式の様子  
(2023.9 京都市サーチパークにて)

サムコ科学技術振興財団のHPは[こちら](#)

# サステナビリティについて

# 持続可能な社会の実現に向けて サムコの取り組み

## 経営理念 ～薄膜技術で世界の産業科学に貢献する～

 <p>環境</p>	<p>《《気候変動・脱炭素への取り組み》》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TCFD提言に基づいた情報開示。ESG委員会の活動による気候変動への対応状況把握、対策。</li> <li>・環境方針(2006年制定)に沿った取り組みを実施。</li> </ul> <p>《《環境配慮型製品》》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ・脱炭素を支えるLED、レーザー、次世代パワーデバイスの製造などを支える装置メーカー。</li> <li>・コア技術である最先端の“薄膜技術”をベースに世界中の製造現場や研究者へ装置を提供。</li> <li>・主な取り組みテーマ ①製品容積の減少、②消費エネルギーの削減、③会社消費電力量の削減、④グリーン調達、⑤廃棄物の削減</li> </ul>
 <p>社会</p>	<p>《《事業を通じた社会的価値の創造》》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客価値、取引先価値、社会的価値、株主価値、従業員価値の創造</li> </ul> <p>《《社会貢献、地域貢献》》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サムコ科学技術振興財団による若手研究者への支援活動</li> <li>・京都市繊維維大学への寄附講座、<b>東高瀬川ビジネスコミュニティへの参画</b></li> <li>・従業員、会社からの寄付金活動。(日本赤十字社、京都大学ほかノウクライナ支援、トンガ大津波支援)</li> </ul>
 <p>ガバナンス</p>	<p>《《ガバナンス体制、ダイバーシティ》》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>役員12名中、社外役員6名(うち女性1名) ←2024年10月22日開催の定時株主総会にて決議予定</b></li> <li>・取締役会の実効性評価による改善、検討。</li> <li>・多様な人材確保。(女性管理職の登用、外国籍社員の積極採用、中途採用含めた中核人材の多様性、シニア社員の活躍)</li> </ul>

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 当社が重点的に取り組むSDGs



上記の取り組みに限らず、様々なチャレンジを続けることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

各取り組みの詳細は[こちら](#)



# 25/7月期事業計画

( 2024.8.1 ~ 2025.7.31 )

# 新役員体制 (2024年10月22日 第45期定時株主総会に決議予定)

代表取締役会長兼CEO	辻 理
代表取締役社長兼COO	川邊 史
取締役専務執行役員	山下 晴彦
取締役執行役員	宮本 省三
取締役執行役員	佐藤 清志
社外取締役	村上 正紀
社外取締役	高須 秀視
社外取締役	藤田 静雄
社外取締役(新任)	やなぎもと よりこ 柳本 依子

常勤監査役	辻村 茂
社外監査役	西尾 方宏
社外監査役(新任)	きむら まなぶ 木村 学



昨年の定時株主総会の様子  
(2023.10.24 京都パルスプラザ 稲盛ホールにて)

# 中期経営計画 目標数値

(単位:百万円)

	23/7月期 実績	24/7月期 実績	25/7月期 計画		
			上半期	下半期	通期
売上高	7,830	8,203	4,300	5,200	9,500
売上総利益 (売上総利益率)	3,869 (49.4%)	4,193 (51.1%)	2,090 (48.6%)	2,520 (48.5%)	4,610 (48.5%)
営業利益 (営業利益率)	1,858 (23.7%)	2,017 (24.6%)	960 (22.3%)	1,260 (24.2%)	2,220 (23.4%)
経常利益	1,927	2,088	970	1,270	2,240
当期純利益	1,366	1,471	660	870	1,530
海外売上高比率	34.3 %	46.3 %			42.1 %
ROE	12.9 %	12.6 %			11.9 %
1株当たり当期純利益(円)	170.07	183.25			190.48

# 24/7月期の課題と進捗状況

- ① クラスターツールシステムの拡販 2号機を受注
- ② 海外販売の拡大 売上高: 26.9億円→37.9億円(+41.3%)、海外比率 46.3%
- ③ 生産体制の拡充 土地・建屋の有効活用検討中
- ④ 成膜装置販売の強化（ナノ薄膜事業） 売上高: 13.0億円→16.3億円(+25.7%)
- ⑤ 新規事業の立ち上げ（ヘルスケア事業部） 基礎研究、大学との共同研究継続
- ⑥ 更なる成長に向けた人材育成・活用 若手人材の育成、シニア社員の活躍
- ⑦ 環境対策（サムコ環境方針）への取り組み強化 省エネ化、エコへの取組み継続

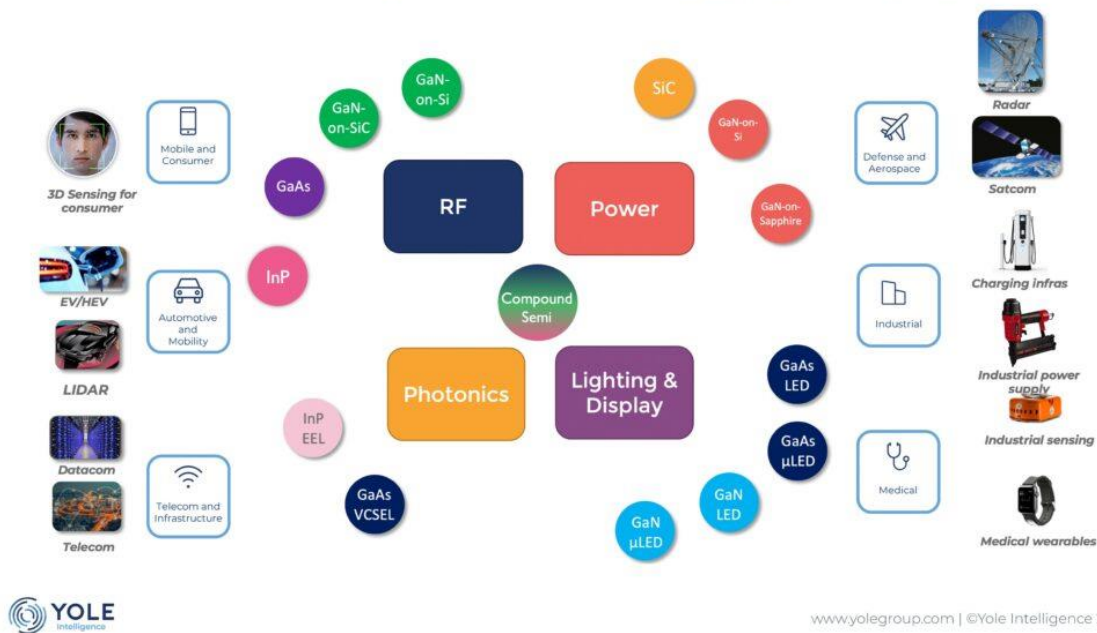
# サムコを取り巻く環境

- ▶半導体市場は、中長期でも様々な用途での拡大が予測されており、2023年に5,268億ドル(約73兆円)であった市場は、2030年に1兆ドル(140兆円)の市場になることが予測されている。
- ▶中でも、SiCやGaNなどを用いた化合物半導体は、電圧による破壊に対する強度が高く、また高温下でも動作可能。この高い強度により、電流を流す重層を大幅に圧縮でき、電力損失を大幅に低減し、エネルギー効率を改善可能。
- ▶6G(Beyond5G～普及が進んでいる5Gの性能をさらに進化させた次世代の移動通信システム)を中心とした情報ネットワーク基盤の実現に向けた世界最高レベルの研究開発環境の整備が進められており、研究開発向けの半導体等電子部品製造装置の需要が拡大。

# 化合物半導体市場

## COMPOUND SEMICONDUCTORS ARE EVERYWHERE!

Source: Status of the Compound Semiconductor Industry report, Yole Intelligence, 2022

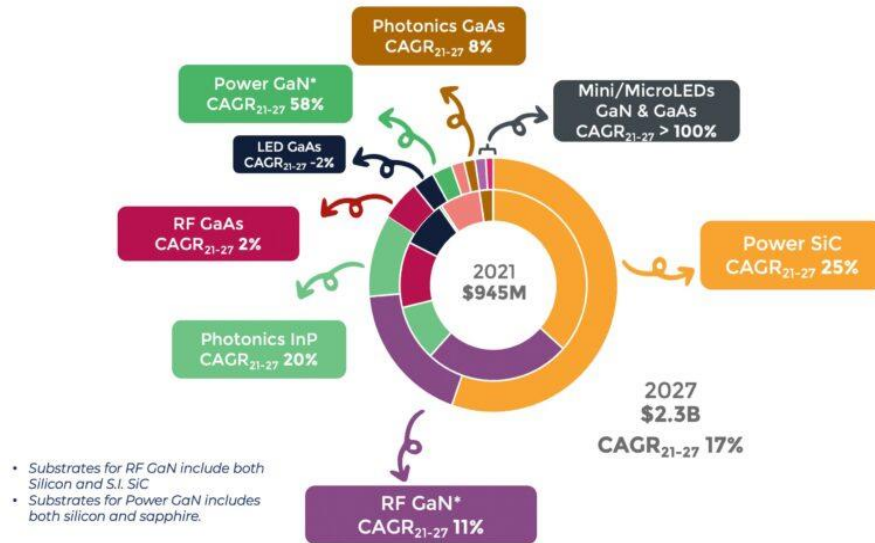


Source: <https://www.yolegroup.com/strategy-insights/compound-semiconductor-substrate-market-set-to-double-how-are-companies-competing-in-this-space/>

# 化合物半導体市場

## CS INDUSTRY AT A GLANCE : SUBSTRATE MARKET EVOLUTION, IN \$M

Source: Status of the Compound Semiconductor Industry report, Yole Intelligence, 2022



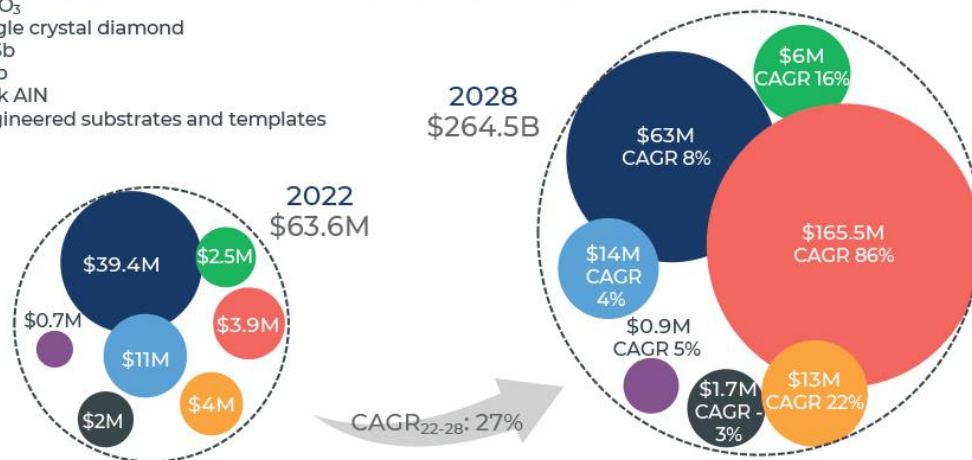
Source: <https://www.yolegroup.com/strategy-insights/compound-semiconductor-substrate-market-set-to-double-how-are-companies-competing-in-this-space/>

# 化合物半導体市場

## 2022-2028 emerging substrates market size forecast

(Source: Emerging Semiconductor Substrates 2023, Yole Intelligence, June 2023)

- Bulk GaN (for power electronics, radio frequency and photonics)
- Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>
- Single crystal diamond
- CaSb
- InSb
- Bulk AlN
- Engineered substrates and templates



© Yole Intelligence 2023

Source: Yole Intelligence

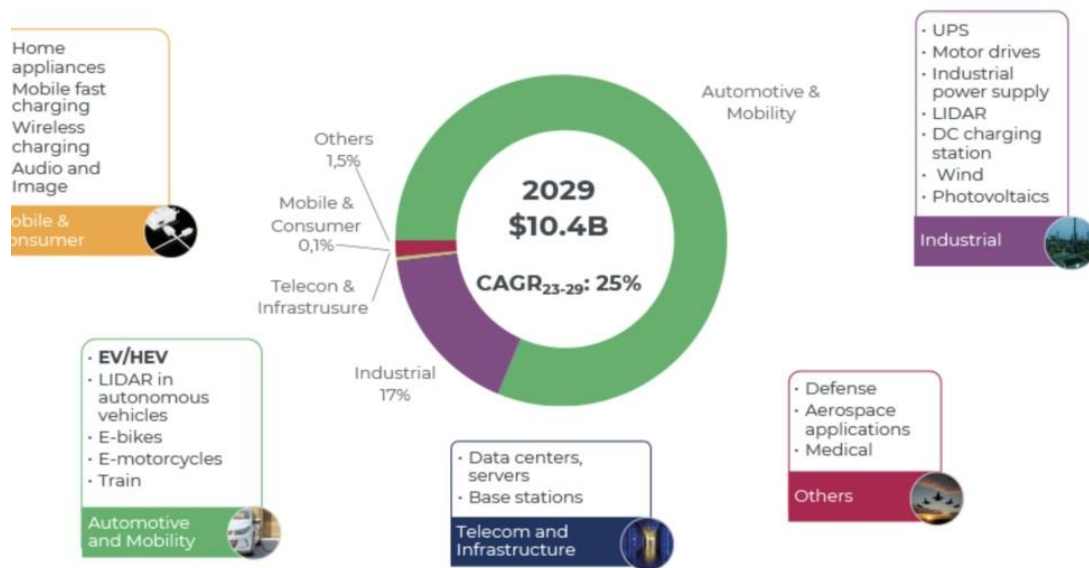
<https://www.yolegroup.com/product/report/emerging-semiconductor-substrates-2023/>



# SiCパワーデバイス市場

## 2023-2029 power SiC device market forecast

Source: Power SiC and GaN Compound Semiconductor Market Monitor Q1 2024, Yole Intelligence, March 2024)

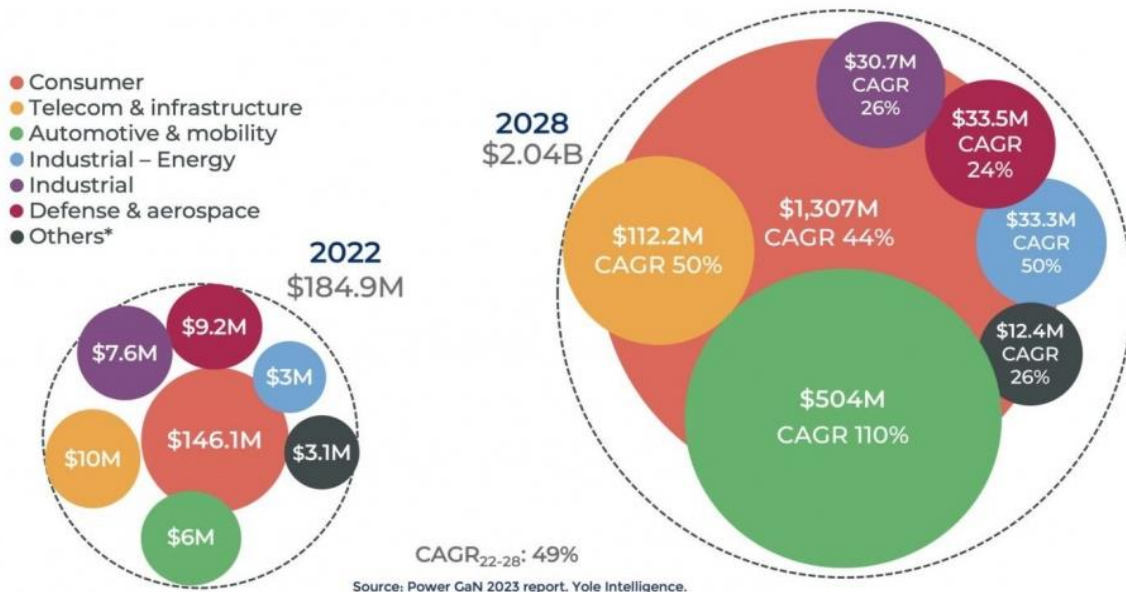


Source: [https://compoundsemiconductor.net/article/119121/What%E2%80%99s\\_next\\_for\\_SiC](https://compoundsemiconductor.net/article/119121/What%E2%80%99s_next_for_SiC)

# GaNパワーデバイス市場

## 2022-2028 GAN POWER DEVICE MARKET IN \$M

Source: Power GaN report, Yole Intelligence, 2023



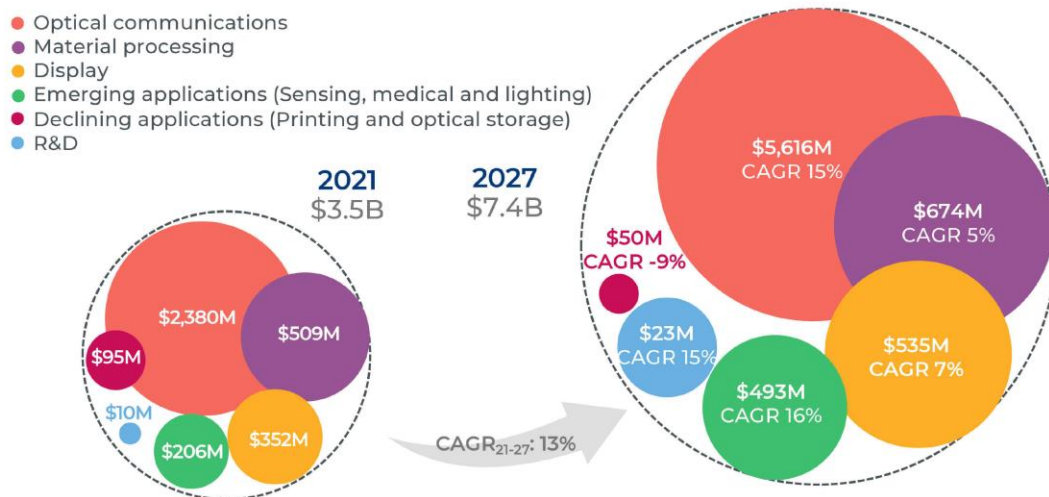
\*Others\* segment includes power supplies for medical applications and high-power (few kW) ones for gaming and crypto-mining, and some R&D activities.

Source: [https://compoundsemiconductor.net/article/118491/Acquisitions\\_in\\_power](https://compoundsemiconductor.net/article/118491/Acquisitions_in_power)

# 半導体レーザー市場

## 2021-2027 EDGE EMITTING LASERS MARKET REVENUE FORECAST BY SEGMENT

Source: Edge Emitting Lasers 2022 report, Yole Intelligence, 2022



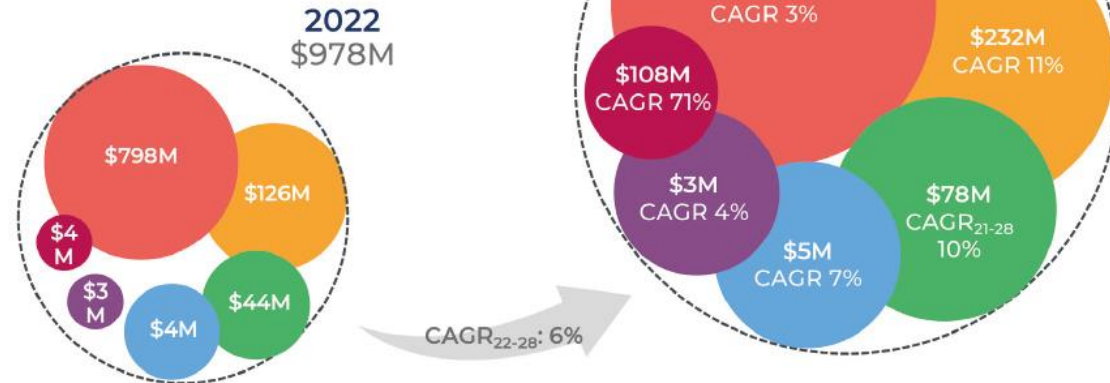
Source: <https://www.yolegroup.com/press-release/edge-emitting-laser-blinded-by-the-lights/>

# VCSEL市場

## 2022-2028 VCSEL market forecast

(Source: VCSEL 2023, Yole Intelligence, October 2023)

- Mobile and consumer
- Telecom and infrastructure
- Industrial
- Defense
- Medical
- Automotive and mobility

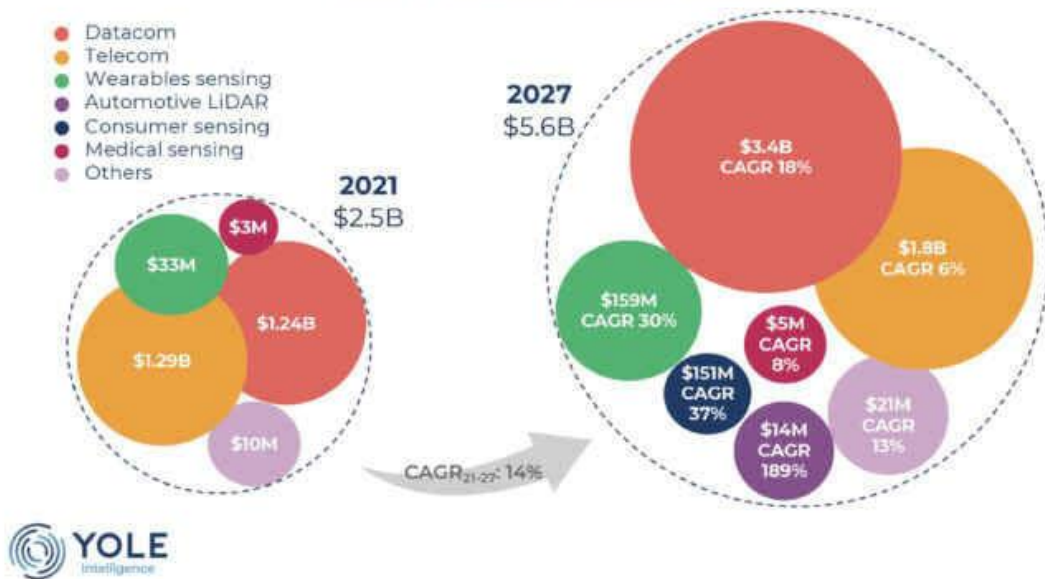


Source: <https://www.yolegroup.com/product/report/vcsl-2023/>

# InP光デバイス市場

## 2021-2027 INP PHOTONICS DEVICE MARKET FORECAST SPLIT BY APPLICATION

Source: InP 2022 report, Yole Intelligence, 2022

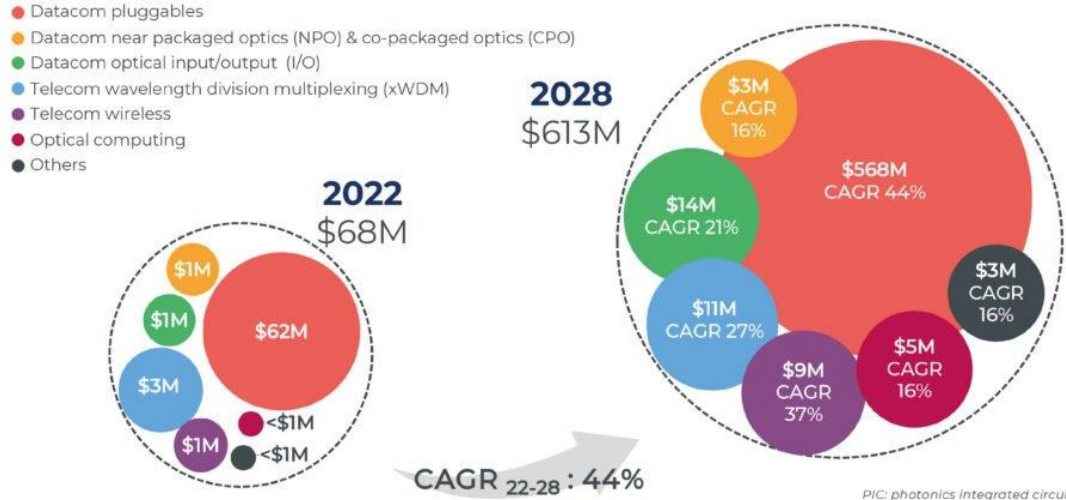


[https://www.semiconductor-today.com/news\\_items/2022/oct/yole-121022.shtml](https://www.semiconductor-today.com/news_items/2022/oct/yole-121022.shtml)

# Silicon Photonics市場

## 2022-2028 SILICON PIC DIES REVENUE GROWTH FORECAST BY APPLICATION

Source: Silicon Photonics 2023 report, Yole Intelligence, 2023



Source: <https://www.yolegroup.com/strategy-insights/the-photonics-world-is-changing/>

# Silicon Photonics市場



出典：総務省ホームページ [総務省 | Beyond 5G \(6G\) に向けた技術戦略の推進 \(soumu.go.jp\)](https://www.soumu.go.jp)

# Silicon Photonics市場

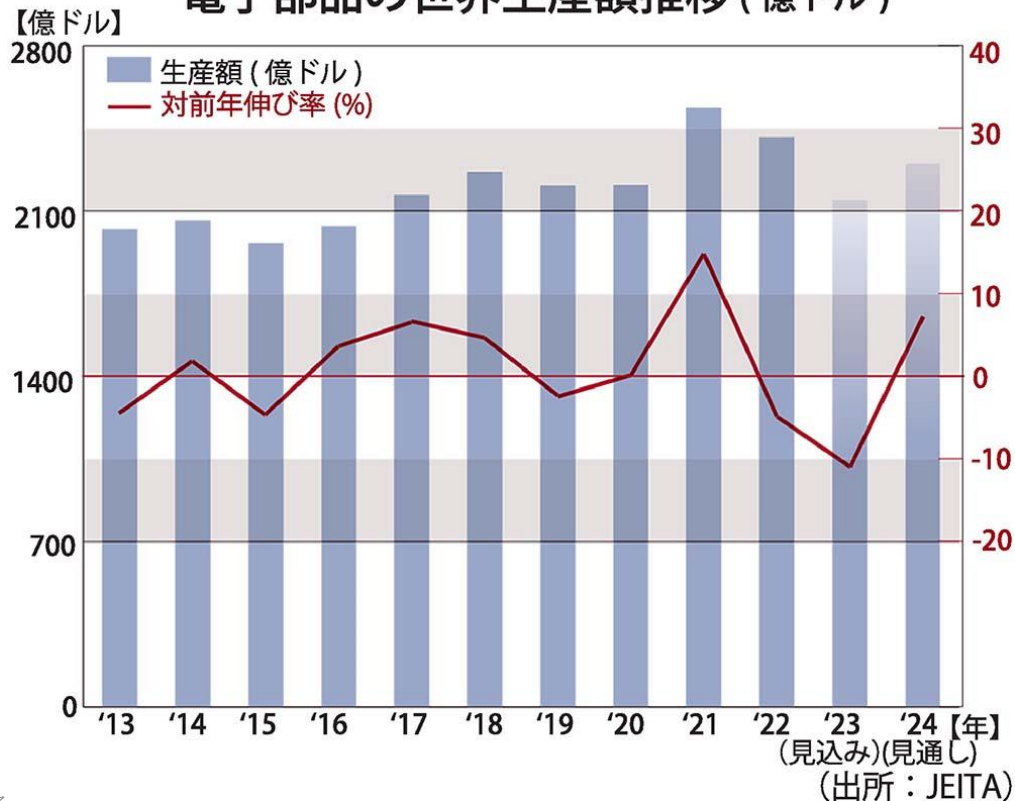


出典: <https://focustaiwan.tw/sci-tech/202409030010>



# 電子部品市場













## 電子部品の世界生産額推移(億ドル)



出典: 電波新聞

# 今後の見通し

(単位:百万円)

用途	45期売上高	前期比	見通し		
			第45期	⇒	第46期
化合物半導体分野	3,436	56.0 %		⇒	
シリコン半導体分野	1,189	△ 14.3 %		⇒	
電子部品分野	640	△ 41.1 %		⇒	
ヘルスケア関連分野	64	△ 54.4 %		⇒	
その他	1,579	24.3 %		⇒	
部品・メンテナンス	1,293	△ 25.7 %		⇒	

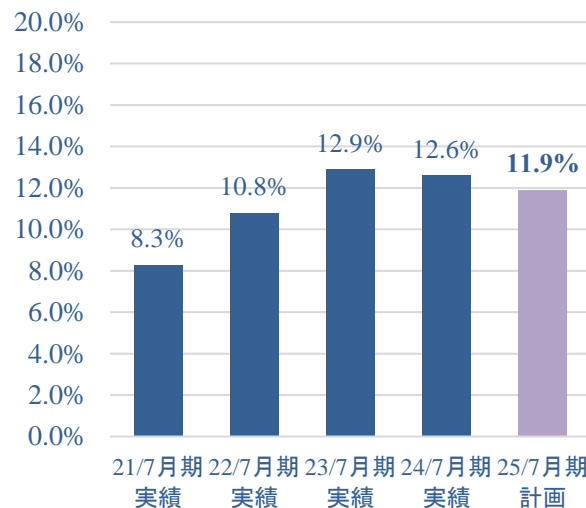
# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

当社は、中長期的な経営指標として「装置製造原価率50%未満」「売上高営業利益率20%以上」「海外売上高比率50%以上」を掲げ、収益性と成長性を重視した経営の実現に向け対応しております。

当社の2023年7月期(第44期)のROEは12.9%であり、第45期には11.8%、第46期には13.8%とする計画であります。また、「資本コスト」については、その概念や計算方法について統一的な基準が示されておらず、一般的な指標になっていないことより、当社の経営指標や開示情報には用いておりませんが、新規事業等への新たな投資については現状のROE水準を意識した経営を実践しております。

なお、当社の2023年7月末時点のPBRは3.83倍となっており、株価についても意識した経営を継続いたします。 コーポレートガバナンス報告書(2023.11.6提出)より

ROEの実績(4期分)、計画(1期分)



コーポレートガバナンス報告書は[こちら](#)

# 株主・投資家との対話状況

## 基本方針

当社は、持続的な企業価値の向上のために、株主との間で建設的な対話を行うこととしております。株主との対話につきましては、代表取締役社長 川邊 史の管掌の下、専任部署である広報・IR室(2024年7月現在3名)を中心に、経理部、総務部、社長室などの関連部署と密接に連携しつつ、IR活動を行っています。また、対話に際しては内部規定に基づき未公表のインサイダー情報の管理を徹底しております。

## 対話を行った株主の概要 対象期間:2023年8月1日から2024年7月31日までの1年間

### 【機関投資家・アナリスト向け】

- ・1 on 1 ミーティング 123件 (国内95件、海外28件)、スモールミーティング 年3回
- ・機関投資家・アナリスト向け オンライン決算説明会 年2回 (Zoomウェビナー形式 / 中間3月、期末9月)

### 【個人投資家向け】

- ・株主総会後の会社説明会 年1回 (10月)
- ・第44期 年次報告書 (2023年10月)にて株主アンケートを実施し、その結果を第45期 中間報告書 (2024年4月)にて公表。
- ・個人投資家からの電話・メール問い合わせ対応 随時

**投資家の皆様との建設的な対話を通じ、企業価値向上に繋げてまいりたいと考えております。**

その他、対話の実例、取締役会に対するフィードバック、取り入れた事項などはHPに掲載 ⇒ [株主・投資家との対話状況の詳細はこちら](#)

# IRカレンダー



# お問い合わせ

## サムコ 株式会社

広報・IR室

E-mail : [koho@samco.co.jp](mailto:koho@samco.co.jp)

URL : [www.samco.co.jp](http://www.samco.co.jp)



**Better Tomorrow Driven by Thin Film Technology**

# 参考資料

# 会社概要

商号	サムコ株式会社 Samco Inc.
代表者	代表取締役会長兼CEO 辻 理(つじ おさむ) 代表取締役社長兼COO 川邊 史(かわべ つかさ)
設立	1979年(昭和54年)9月1日
本社所在地	〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町36
事業内容	半導体等電子部品製造装置の製造及び販売
売上高	82億315万円(2024年7月期)
従業員	183名(2024年7月)
証券コード	6387(東京証券取引所プライム市場)



左:川邊 史、右:辻 理



最新の会社案内は[こちら](#)



当社のビジネスモデルは[こちら](#)



# 沿革(創業～2010年)

1979年9月	半導体製造装置の製造及び販売を目的として株式会社サムコインターナショナル研究所を設立
1980年7月	半導体プロセス用大型CVD(Chemical Vapor Deposition)装置の開発、販売を開始
1984年7月	東京都品川区に東京出張所(現東日本営業部)を開設
1987年2月	米国カリフォルニア州にオプトフィルムス研究所を開設
1997年11月	キリンビール株式会社と共同で、プラスチックボトルにDLC(ダイヤモンド・ライク・カーボン)膜を形成する技術を開発
2001年5月	日本証券業協会に株式を店頭上場
2004年12月	株式会社サムコインターナショナル研究所からサムコ株式会社へ社名を変更
2010年4月	ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所JASDAQ市場(2013年7月より東京証券取引所JASDAQ(スタンダード))に上場



沿革の詳細は[こちら](#)

# 沿革(2011年～現在)

2013年7月	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から市場第二部へ市場変更
2014年1月	東京証券取引所市場第二部から同第一部銘柄に指定
2014年5月	リヒテンシュタイン公国UCP Processing Ltd.の株式90%を取得し子会社化(samco-ucp AGに社名変更)
2016年9月	Aqua Plasmaを用いたプラズマ洗浄装置AQ-2000の開発、販売を開始
2020年7月	第二生産技術棟内にCVD装置のデモルームを開設
2021年12月	電子デバイス製造向けクラスターツールシステム「クラスターH <sup>TM</sup> 」の販売を開始
2022年3月	第二研究開発棟内にナノ薄膜開発センターを立ち上げ
2022年4月	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所市場第一部からプライム市場へ移行



沿革の詳細は[こちら](#)

# 国内拠点、海外拠点



## 京都地区



本社



研究開発センター



第二研究開発棟



製品サービスセンター



生産技術研究棟



第二生産技術研究棟

上記に加えて第三研究開発棟を建設中（2024年12月完成予定）



## 海外営業・サービス拠点(計11拠点)

海外売上高比率46.3%（2024年7月期実績）

現地の営業・サービス人員を強化し、海外市場の開拓を図る。

⇒インド・ベンガルールオフィスを開設(2022年7月)

各事業拠点の詳細は[こちら](#)

# 経営理念、経営方針

## Mission

### 経営理念

- 企業の永続的な発展を追求し、適正な利益を確保することにより、企業を取巻く利害関係者とともに成長する企業を目指して、薄膜技術で世界の産業科学に貢献する。

### 経営方針

1. 社員の創造性を重視し、常に独創的な薄膜技術を世界の市場に送る。
2. 直販体制を採用し、ユーザーニーズに対応した製品をタイムリーに提供する。
3. 事業が社会に果たす役割を積極的に認識し、高い付加価値を目標とし、株主、取引先、役員、従業員に対し、適切な成果の配分をする。

# グローバル中堅企業

Vision

## サムコの目指すグローバル中堅企業

1. 世界中で自由にビジネスを展開し、自社の独自技術を活かし、質の高い製品とサービスを提供し続ける。
2. コア技術(薄膜技術)をベースに、参入障壁の高い領域において、特定の製品で圧倒的シェアを有することで、自ら製品に値付けが出来る力を持ち、高い収益率を維持し続ける。
3. 売上の規模を求めるだけでなく、継続的に利益を稼げる市場に特化、集中する。
4. 組織体制は少数精鋭のプロ集団である。
5. 適正な税金を納め、国家や地域の発展にも貢献する。

# 製品ラインナップ



deposition

## ■CVD (Chemical Vapor Deposition) 装置

- ALD (Atomic Layer Deposition) 装置
- プラズマCVD装置
- 液体ソースCVD®装置



etching

## ■ドライエッチング装置

- ICP (Inductively Coupled Plasma) エッチング装置
- シリコン深掘り装置
- RIE (Reactive Ion Etching) 装置



surface  
treatment

## ■ドライ洗浄装置

- Aqua Plasma® クリーナー
- プラズマクリーナー
- UVオゾンクリーナー

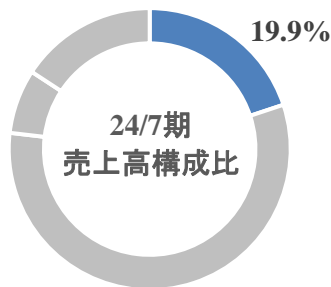


# 品目別売上高 CVD装置



## 装置ラインナップ

- ・ALD (Atomic Layer Deposition) 装置
- ・プラズマCVD装置
- ・液体ソースCVD®装置



## 概要

反応性の気体を基板上に供給し、化学反応によって薄膜を形成する装置で、一般に半導体、電子部品製造のための半導体膜、絶縁膜、金属膜などを形成するために使われます。当社が開発したLS (Liquid Source)-CVD装置では、引火爆発性のあるガスを使用せず安全性に優れた液体原料を用いて、低温で均一性に優れた薄膜を高速で形成することが可能であります。

2015年12月から販売を開始した原子層堆積装置 (ALD = Atomic Layer Deposition) はCVD装置に分類しております。ALD装置は、反応室に有機金属原料と酸化剤を交互に供給し、表面反応のみを利用して成膜を行う装置であり、高い膜厚制御性と良好な段差被覆性を実現することが可能であります。

第44期有価証券報告書(2023.10.24提出)より



CVD装置の詳細は[こちら](#)



CVD装置とは [⇒こちら](#)

(半導体製造装置入門より)

# 品目別売上高 エッチング装置



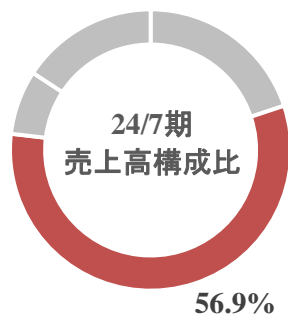
## 装置ラインナップ

- ・ICP (Inductively Coupled Plasma) エッチング装置
- ・シリコン深掘り装置
- ・RIE (Reactive Ion Etching) 装置
- ・XeF<sub>2</sub>ドライエッチング装置

## 概要

各種半導体基板上の半導体薄膜、絶縁膜をはじめ微細加工が必要な材料をドライ加工する装置で、反応性の気体をプラズマ分解し、目的物と反応させて蝕刻いたします。当社独自のトルネードICP(Inductively Coupled Plasma=高密度プラズマ)を利用するエッチング装置では、高密度プラズマを安定して生成し、高速で高精度の微細加工が可能です。

第44期有価証券報告書(2023.10.24提出)より



エッチング装置の詳細は[こちら](#)



エッチング装置とは [⇒こちら](#)  
(半導体製造装置入門より)

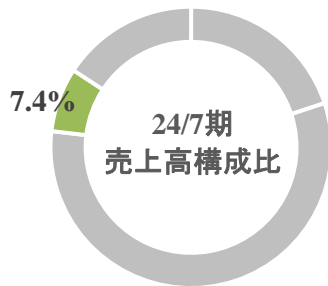


# 品目別売上高 洗浄装置



## 装置ラインナップ

- ・Aqua Plasma® クリーナー
- ・プラズマクリーナー
- ・UVオゾンクリーナー



## 概要

実装基板や各種半導体基板などを溶液を用いずドライ洗浄する装置で、減圧下で反応性の気体をプラズマ放電させて処理する装置や紫外線と高濃度オゾンの併用で処理する装置などがあります。当社のドライ洗浄装置は、ウエット洗浄では難しい超精密洗浄を高効率で行うことが可能であります。

2016年9月より販売を開始した水蒸気(H<sub>2</sub>O)を用いたプラズマ処理装置であるAqua Plasma(アクアプラズマ)洗浄装置は、金属酸化膜の還元、有機汚れの洗浄、樹脂接合、超親水化などの表面処理を、安全で環境に優しく行うことが可能であります。 第44期有価証券報告書(2023.10.24提出)より



洗浄装置の詳細は[こちら](#)



洗浄装置とは [⇒こちら](#)

(半導体製造装置入門より)

# 品目別売上高 部品・メンテナンス

## 主な内訳

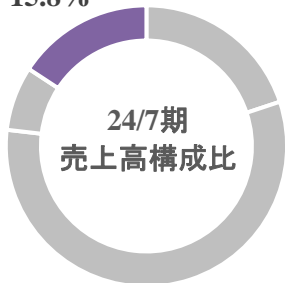
- ・部品、消耗品
- ・修理、改造
- ・移設、作業
- ・メンテナンス

## 概要

当社装置の納品後のアフターサービスに係る売上を、部品・メンテナンスの売上高として計上しております。交換用の部品や消耗品をはじめ、装置の修理や改造、また装置の移設やそれに伴う作業費、メンテナンス費用等があります。

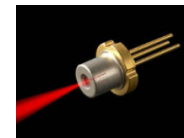
第44期有価証券報告書(2023.10.24提出)より

15.8%



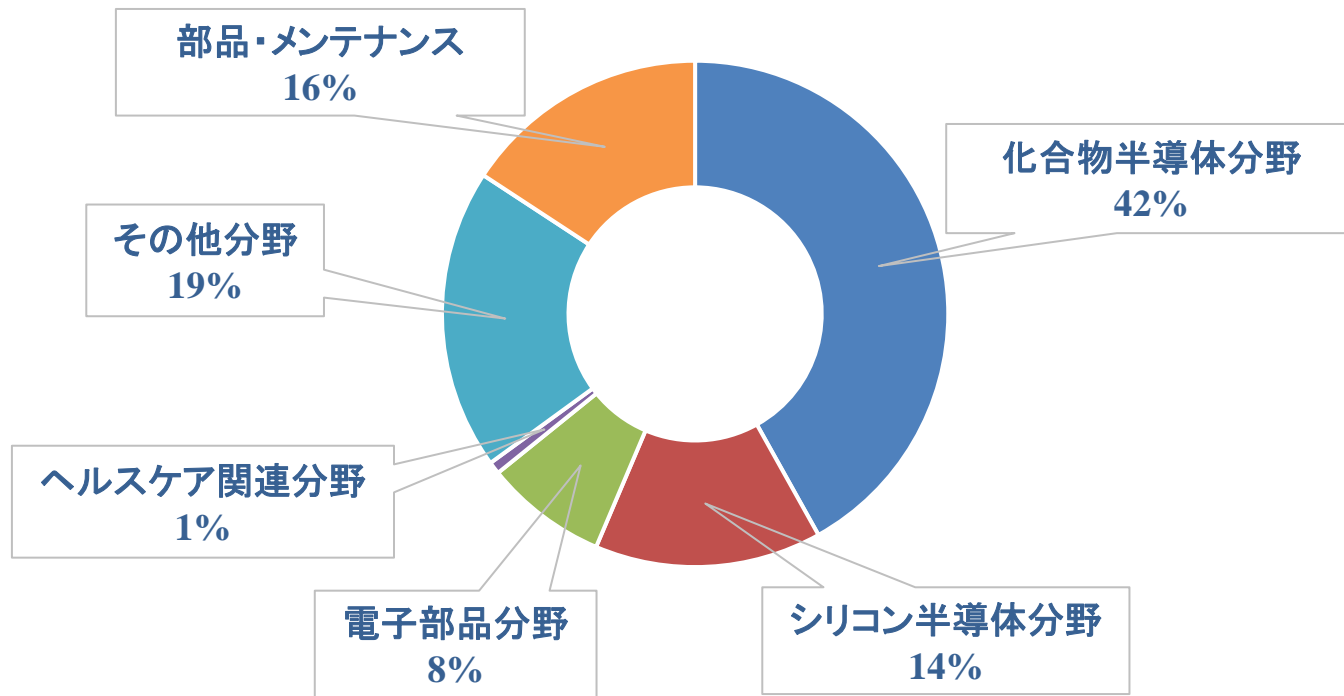
# 用途別売上高区分

用途	概要
化合物半導体分野	GaN(窒化ガリウム)、GaAs(ガリウムヒ素)、InP(インジウムリン)、SiC(炭化シリコン)などの化合物を材料に用いた半導体デバイスの加工用途です。化合物半導体はLEDや半導体レーザーといった光デバイス、電力の制御や増幅に使われるパワーデバイスや高速通信を実現するHEMT(High Electron Mobility Transistor)などの高周波デバイスに用いられます。
シリコン半導体分野	シリコンウェハの欠陥解析及びシリコン半導体に関する加工用途です。
電子部品分野	半導体を除く電子部品の加工用途です。主にMEMS(Micro Electro Mechanical Systems 微小電気機械システム)、コンデンサ、インダクタ、各種センサー、高周波フィルターが含まれます。
ヘルスケア関連分野	マイクロ流体デバイスなどヘルスケアに関する加工用途などです。
その他	大学等の共用設備向けの装置など上記以外の加工用途です。
部品・メンテナンス	部品・メンテナンスに関する売上であります。



第45期第2四半期 決算短信(2024.3.13提出)より

# 用途別売上高構成比（2024年7月期 実績）



# 当社製品が用いられるアプリケーション(例)



MEMS



TSV



SiCパワーデバイス



GaNパワーデバイス



LED

様々なアプリケーションの製造工程に  
当社の製品が使用されています。



半導体レーザ(LD)



光導波路



フォトニック結晶



GaAs高周波デバイス



SAWデバイス

# 事業領域 化合物半導体の例

化合物半導体は、複数の異なる元素を組み合わせて作ることで、シリコンのような単元素の半導体では実現できない特性を得ることができます。

高速で動作する、高い耐熱性、低消費電力、発光するなどの優れた特性を持っており、スマートフォンの高周波デバイスやLD、LED、次世代パワーデバイスなどの材料として利用されています。

デバイスの例	材料の例	最終製品・用途の例
LD(半導体レーザー)	GaAs、InGaAsP、InP	スマートフォン顔認証システム、自動車の自動運転システム、無線基地局・衛星、光通信
LED、マイクロLED	GaN、AlInGaP、GaP	液晶ディスプレイ、照明、自動車ヘッドライト
パワーデバイス	SiC、GaN、Ga <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	鉄道車両インバーター、電気自動車の充電ユニット、データセンター、ノートパソコン等の急速充電器

# 地域別売上高区分

当社では、当社の製品が使用される地域(国)によって、売上高を以下の地域に区分しております。

地 域	対象となる国
日 本	日本国内
アジア	台湾、中国、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、フィリピン、インド ほか
北 米	米国、カナダ、メキシコ
欧 州	ブルガリア、ドイツ、イギリス、フィンランド、ポルトガル、スペイン、イタリア、トルコ、スウェーデン ほか
その他	オーストラリア、エジプト ほか

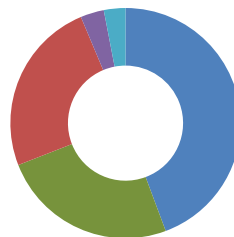
当社 第44期有価証券報告書(2023.10.24提出)より

# 株式の状況 (2024年7月末時点)

- ・発行可能株式総数 14,400,000株
- ・発行済株式の総数 8,042,881株
- ・株主数 8,736名
- ・大株主の状況

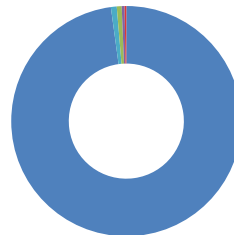
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
一般財団法人サムコ科学技術振興財団	1,000,000	12.4
辻 理	863,707	10.7
サムコエンジニアリング株式会社	850,282	10.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	786,400	9.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	338,100	4.2
辻 一美	201,465	2.5
野村信託銀行株式会社(投信口)	159,400	2.0
株式会社三菱UFJ銀行	129,600	1.6
サムコ従業員持株会	105,338	1.3
立田 利明	103,099	1.3

## ・所有者別株式分布状況(株式数ベース)



個人・その他	3,564,689株 (44.3%)
その他の法人	1,990,872株 (24.8%)
金融機関	1,978,100株 (24.6%)
金融商品取引業者	265,234株 (3.3%)
外国法人等	243,986株 (3.0%)

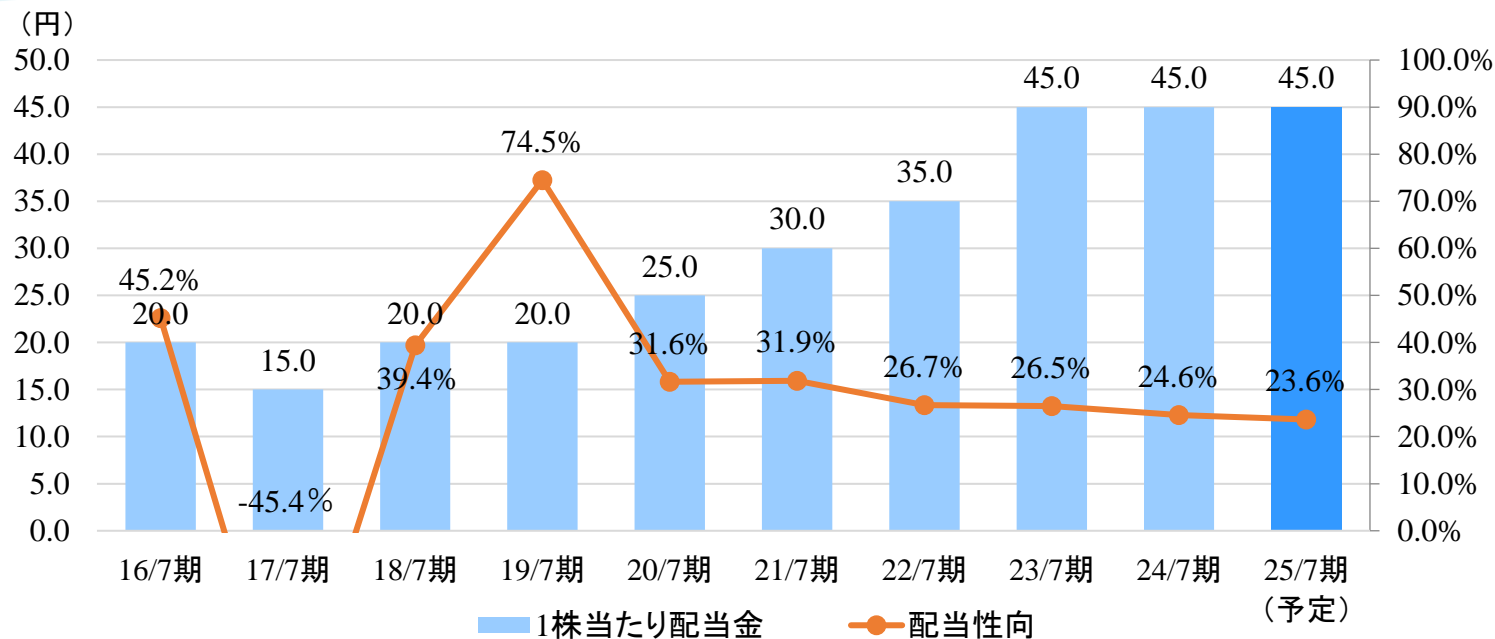
## ・所有者別株式分布状況(株主数ベース)



個人・その他	8,548名 (97.9%)
外国法人等	72名 (0.8%)
その他の法人	60名 (0.7%)
金融商品取引業者	35名 (0.4%)
金融機関	21名 (0.2%)



# 1株当たり配当金、配当性向 推移






経営体質の強化と研究開発のための設備投資等のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続する基本方針のもと、余剰資金については業績連動的な配当の考え方を合わせて取り入れております。

# ESG・サステナビリティ



# 持続可能な社会の実現に向けて サムコの取り組み

## 経営理念 ～薄膜技術で世界の産業科学に貢献する～

 <p>環境</p>	<p>《《気候変動・脱炭素への取り組み》》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TCFD提言に基づいた情報開示。ESG委員会の活動による気候変動への対応状況把握、対策。</li> <li>・環境方針(2006年制定)に沿った取り組みを実施。</li> </ul> <p>《《環境配慮型製品》》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ・脱炭素を支えるLED、レーザー、次世代パワーデバイスの製造などを支える装置メーカー。</li> <li>・コア技術である最先端の“薄膜技術”をベースに世界中の製造現場や研究者へ装置を提供。</li> <li>・主な取り組みテーマ ①製品容積の減少、②消費エネルギーの削減、③会社消費電力量の削減、④グリーン調達、⑤廃棄物の削減</li> </ul>
 <p>社会</p>	<p>《《事業を通じた社会的価値の創造》》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客価値、取引先価値、社会的価値、株主価値、従業員価値の創造</li> </ul> <p>《《社会貢献、地域貢献》》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サムコ科学技術振興財団による若手研究者への支援活動</li> <li>・京都市繊維維大学への寄附講座、<b>東高瀬川ビジネスコミュニティへの参画</b></li> <li>・従業員、会社からの寄付金活動。(日本赤十字社、京都大学ほかノウクライナ支援、トンガ大津波支援)</li> </ul>
 <p>ガバナンス</p>	<p>《《ガバナンス体制、ダイバーシティ》》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>役員12名中、社外役員6名(うち女性1名) ←2024年10月22日開催の定時株主総会にて決議予定</b></li> <li>・取締役会の実効性評価による改善、検討。</li> <li>・多様な人材確保。(女性管理職の登用、外国籍社員の積極採用、中途採用含めた中核人材の多様性、シニア社員の活躍)</li> </ul>

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 当社が重点的に取り組むSDGs



上記の取り組みに限らず、様々なチャレンジを続けることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

各取り組みの詳細は[こちら](#)

# サステナビリティに関する取り組み

取り組みテーマ	概要
製品容積の減少	半導体製造装置の製造現場では、多大な電力を要するクリーンルームでの効率的な装置配置が不可欠です。そのためには、フットプリントの削減が重要なポイントとなります。更に小さなサイズの装置とすることで納品時における移送コストの削減を行うことができます。
消費エネルギーの削減	より少ない電力消費で当社装置を稼働できるよう省電力が可能となる部品の選択や構成の見直しなどを恒常的に行ってまいります。
会社消費電力量の削減	当社業務活動における電力消費、温室効果ガスの排出量削減を目指した取り組みを行ってまいります。
グリーン調達	当社では、環境に配慮した原材料・部品を優先的に調達するグリーン調達を、調達先企業と協力して推進しております。
廃棄物の削減	事業活動に伴い排出される廃棄物の量の削減・リサイクル製品の利用促進に継続的に取り組んでおります。

各取り組みの詳細は[こちら](#)

# TCFD対応

## 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)



G20財務大臣・中央銀行総裁会議の要請を受け、金融安定理事会(FSB)により2015年12月に設立された「Task Force on Climate-related Financial Disclosures」の略称。

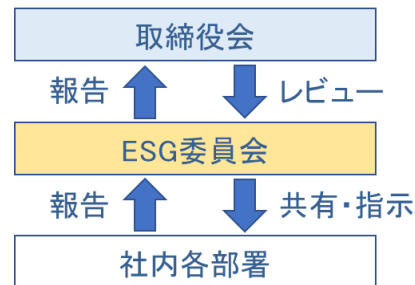
「ESG委員会」より、ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標について当社ホームページ上で開示。

## ESG委員会

気候変動に係るリスク及び機会、自社の事業活動や収益に与える影響についてのデータ収集と分析を行うため、代表取締役社長を委員長とする「ESG委員会」設置。

⇒活動内容を取締役に年1回以上報告

⇒財務への影響や中長期経営計画への影響等に対する検討を行う。



各取り組みの詳細は[こちら](#)

# 省エネ、脱炭素社会実現を支えるサムコの技術



サムコの“薄膜技術”は省エネ・脱炭素を支えるLED、次世代パワーデバイスなどを支えています。

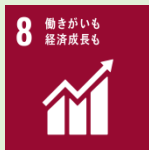
当社のコア技術である最先端の“薄膜技術”をベースに、SDGsに関連する環境・社会・ガバナンスの視点から研究開発、人材育成に注力。

最先端の製造装置を世界中の製造現場や研究者へ提供し、省エネ、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

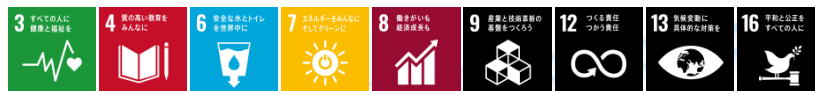
# サムコとSDGsの関わり

- ・当社の主な事業領域である半導体・電子部品製造装置事業は、SDGsの目標を達成するためには欠かせない技術です。
- ・SDGsの17の目標では、経済、産業、社会等の課題を取り扱っていますが、当社では、創業以来、「企業の永続的な発展を追究し、適正な利益を確保することにより、企業を取巻く利害関係者と共に成長する企業を目指して、薄膜技術で世界の産業科学に貢献する。」という経営理念を掲げて、社会への貢献に重きを置いてきました。

事業との関連性が高い以下の項目について、重点的に取り組んでまいります。



# サムコのSDGsの取り組み例







<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロ流体チップ、医療用ドライ滅菌装置の製造に当社アクアプラズマ技術の寄与を目指す。</li> <li>・深紫外LED空気清浄機(コロナウィルス不活性化)製造に当社装置が寄与。</li> <li>・医療機器、エコーヘッドセンサーの製造に当社装置が寄与。</li> <li>・日本赤十字社への寄付。(ウクライナ支援、トンガ大津波支援等)</li> </ul>
<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の大学(ODA案件を含む)・研究機関等における医療分野や科学分野の研究のために、幅広く当社装置を提供。</li> <li>・サムコ科学技術振興財団を通じ、基礎・応用研究に携わる研究者を支援。</li> <li>・京都工芸繊維大学にサムコ辻理寄附講座「先端材料科学講座」を開講。</li> </ul>
<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄水場・家庭・職場・レストラン等での流水浄化用に水銀ランプの代替光源として、深紫外線LEDを利用した浄水器が製造。深紫外線LEDの製造に当社装置が寄与。</li> </ul>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネの切り札である次世代パワーデバイスの材料として期待されるSiC(炭化シリコン)、GaN(窒化ガリウム)、酸化ガリウム(Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)等の加工に当社装置が寄与。</li> <li>・高効率LED素子、マイクロLEDや、LD(レーザー)の製造のほか、太陽電池の研究開発用で当社装置を提供。</li> </ul>
<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社はファブライツ企業として、サプライヤーや協力工場と協業し、双方の事業発展を目指す。</li> <li>・勤続年数に応じた表彰のほか、業績への貢献に応じた賞を用意。</li> <li>・役職ごとの当社独自の人材育成プログラムを実施。</li> <li>・多様な人材確保。(女性管理職の登用、外国籍社員の積極採用、中途採用含めた中核人材の多様性、シニア社員の活躍)</li> </ul>



# サムコのSDGsの取り組み例



	<p>産業と技術革新の基盤造りのため、以下の用途等に装置を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5G関連の高周波フィルター、高周波デバイスの製造やデータセンターなどVCSEL(面発光レーザー)を含む通信用LD(レーザー)用装置の製造。</li> <li>・自動運転用のセンシング技術(LiDAR)、各種センサーや宇宙衛星の探索用センサー機器の製造。</li> <li>・有機EL、マイクロLEDの製造。</li> <li>・超伝導デバイス、量子デバイスの研究開発用途。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の健康や環境を守るために当社での製造過程、製品について適正な管理を実現する。</li> <li>・環境に調和するプロセス技術の開発と、製造から廃棄までを考慮した環境負荷軽減型の製品開発に努める。</li> <li>・省エネルギー、省スペースを基本とした製品を通じて環境負荷を低減。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調達する原材料、部品について、環境影響を考慮するよう調達先に働きかけ、グリーン調達に注力。</li> <li>・エネルギーの効率的な利用および3Rに取り組む。</li> <li>・省エネルギー、省スペースを基本とした製品を通じて環境負荷を低減。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーポレートガバナンス・コードに基づいた経営を実践。</li> <li>・管理職、新入社員を対象にしたコンプライアンス研修を定例的に実施。</li> <li>・コンプライアンス全体を統括する組織として代表取締役社長を委員長とする「内部統制委員会」を設置し、内部統制システムの構築、維持、向上を推進。</li> </ul>

# サムコの人材育成方針



1. 仕事は楽しく、面白くあるべきである。一所懸命に楽しく仕事をして、かつ面白い。そして良い結果がついてくる。そんな楽しく、面白い日々が日常である会社とする。
2. “学ぶ”を忘れない。学ぶことを常に念頭に置き、長きに渡り己を磨くことで自らの価値を高めてほしい。特に若手社員は30代までに能力向上に勤しむ癖をつけなければならない。
3. リスキリングにより第一線で活躍できるスキルを身に付けることにより、70歳まで働ける企業としていく。シニア社員が十分社会貢献できるよう再教育することを会社の使命と考える。
4. 外国籍社員の採用を増やし、若手社員の海外経験を増やすことによりグローバル人材の育成を図る。
5. 階層別の教育訓練制度(部長塾、課長塾、成長塾)を発展的に継続し、多角的な視野で経営管理できる人材の育成を図る。
6. たえず組織の新陳代謝を図り、新たな細胞(多様な人材)を積極的に登用していく。人事異動は社員の層を厚くし、組織を重層化する目的もあり、新たな能力の開拓につなげる。女性社員も大きな戦力として、管理職で活躍をしてもらえるように環境を整備する。



# お問い合わせ

## サムコ 株式会社

広報・IR室

E-mail : [koho@samco.co.jp](mailto:koho@samco.co.jp)

URL : [www.samco.co.jp](http://www.samco.co.jp)



**Better Tomorrow Driven by Thin Film Technology**